

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2022年度 助成者)

作成日 2022年 8月 26日

氏名 (フリガナ)	森末 隆史 (モリスエ タカシ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2022年8月15日 (月) ~ 8月20日 (土)
大学名	慶應義塾大学
学年	5年

私はこの度、**Hawaii Tokai International College**にて行われました医学部夏期集中医学英語研修プログラムに参加させて頂きましたので、ご報告させていただきます。

このプログラムでは、英語で患者さんから情報を適切に聴取 (**Taking History**) し、**Case Presentation**を行う方法を学び、それらを実践することが出来ました。また、**PBL (Problem Based Learning)**では症例を通じて様々な検査や疾患についての知識を整理する経験が出来ました。**Case Presentation**については、他の生徒の前で発表したり、先生と1対1で発表したりする機会があり、フィードバックを受けながら自分のプレゼンテーションを成熟させていくことが出来ました。**Case Presentation**は米国で医師として働く上で非常に重要であるというお話も頂き、今後も練習を重ねて、より良いプレゼンテーションが出来るようにしたいと思いました。**PBL**について、自大学の授業では**PBL**形式の授業をあまり行っておらず、最初はディスカッションの進め方に戸惑うこともありましたが、先生や周りの生徒の方に教えて頂きながら回数を重ねるうちに**PBL**の目的や意義が少しずつ理解できたように思います。

Taking History, Case Presentation, PBLのいずれにおいても、ハワイ大学医学部の生徒と一緒にいる機会が設けられており、非常に貴重な体験となりました。その他、ハワイ大学医学部の生徒の方には、自身の勉強が忙しい中、キャンパスの案内や質問への回答をして頂きました。ハワイ大学の学生や先生方のお話から、学習の仕方や教育制度の日本とアメリカの間での違いなどについて知ることができ、非常に興味深かったです。

加えて、このプログラムでは、将来アメリカで医師として働く上で必要不可欠となる **USMLE** や **Residency Program**、アメリカでの医師のキャリアについての知識を得ることが出来ました。プログラムを共にした生徒の中には、既に海外で働くビジョンがはっきりとしている方や、海外に羽ばたくために意識を高く持って勉強されている方が多くいらっしゃり、そのような方々と情報交換をし、関係を築けたことも私の今後の医学生・医師生活において必ずプラスに働くと思います。

最後に、コロナ禍の中での研修の実現にご尽力いただきました、日米医学医療交流財団及び **Hawaii Tokai International College**の方々、お忙しい中プログラムに参加して下さいました先生方、共に研修を行った生徒の方々、プログラムの助成にご寄付頂きました小林先生にこちらの場をお借りして心より御礼申し上げます。